

児童	3年1組	男子19名	女子19名	計38名
	3年2組	男子19名	女子20名	計39名
指導者	3年1組	豊巻 幸樹		
	3年2組	玉澤 亮子		

**1 単元名** 物語の組み立てから文章を味わい、心に残ったお話を紹介しよう。

**学習材名** 中心学習材 三年とうげ（光村図書3年）

補助学習材 かさこじぞう（東京書籍 2年）

## 2 児童と単元について

### (1) 児童について

本学年の児童が、昨年度、文学的文章の学習において学習した主な読みの方法は次の三つである。付きたい力「物語の内容の大体をとらえる」（読むことウ）では二つ、「場面の様子や登場人物などについて想像を広げ、叙述と結び付けて読む」では一つである。付きたい力「物語の内容の大体をとらえる」（読むことウ）について一点目は「設定をとらえる（登場人物、中心人物、時、場所）」という方法、二点目は「あらすじをとらえる」方法である。付きたい力「場面の様子や登場人物などについて想像を広げ、叙述と結び付けて読む」（読むことウ）については、「登場人物の行動や会話を基に想像する」という方法である。昨年度の学習を受け、付きたい力「物語全体の構成を理解する」（読むことウ）と「場面の移り変わりや叙述を結び付けて読む」（読むことウ）を伸ばすために、今年度これまでに学習した読みの方法は二つである。付きたい力「物語全体の構成を理解する」では「あらすじを一文にまとめる」という方法、「場面の移り変わりや叙述を結び付けて読む」については、「登場人物の行動・会話・心情描写を基にして読む。」という方法である。学習を通して、物語の場面を「始め」「中」「終わり」の三つで構成をとらえ、「出来事（事件）」をきっかけに「始め」と「終わり」の場面で中心人物が変容することを読み取り、「中心人物紹介カード」に書いて紹介する言語活動を経験してきている。

昨年度行われた CRT の結果は、「読むこと」領域の正答率は71.1%で全国平均を5ポイント上回っていた。このことから、読むことに関しては全体的に学習の内容が身に付いていると考えられる。しかし、場面の読み取りで正答率が50%以下と低い結果であった。物語を大きく読んで大体をとらえられるようになってきているものの、更に文章を深く読み深めるには、物語の組み立てや場面の移り変わりに注目して文章を読むことが必要であると考えられる。

読書についての課題は、読書量に個人差が大きく、集中して読むことができない児童がいることや、図鑑や学習漫画など選択する本の種類の幅が狭いことである。図書ボランティアによる読み聞かせでは、お話に集中し、物語の世界に引き込まれながら聞き入る姿が見られる。このような児童の姿から、読書の面白さにふれる経験やいろいろな種類の本にふれる経験の少なさが読書についての課題につながっていると思われる。そこで本単元では、その物語の面白さや楽しさを実感させるために、物語の組み立てを捉える方法を2つの学習材を活用しながら学習させ、「昔話しようかいシート」にまとめる言語活動を通して身に付けることができるように指導したい。また、学習を通して長く語り継がれてきた昔話を読み親しむことで、これからの読書生活へ広がるようにしたい。

## (2) 単元と学習材について

本単元「物語の組み立てから文章を味わい、心に残ったお話を紹介しよう。」では、学習指導要領・読むこと指導事項ウに関する「全体構成を理解する力」、「場面の移り変わりと叙述とを結び付けて読む力」を付けるために、場面に分けて物語の組み立てを捉え、紹介シートにまとめて1年生に紹介する言語活動を行う。

本学習材「三年とうげ」は、作品の舞台である朝鮮半島の伝統的な風景を表現した挿絵が魅力的であり、文章だけではなく、挿絵からも情景を想像しやすい物語である。また、登場人物であるトルトリの逆転の発想によって、おじいさんの不幸を幸運に180度変えてしまうという面白さが子どもたちを引きつける作品である。民話や昔話は、物語の組み立ての型である、起（「はじめ」）・承（「出来事（事件）が起きる」）・転（「出来事（事件）が変化する」）・結（「むすび」）が分かりやすく、学習を通して物語の型を理解することも期待できる。

## (3) 単元指導計画の工夫について

**ア 付けたい力と読みの方法** 【付けたい力】 ○読みの方法

【全体構成を理解する】

○出来事にそって場面を分ける。

- ・中心人物に関わる出来事（事件）

見通す段階では、単元のゴールが1年生への紹介ということから、モデル学習を通して1年生が分かる紹介の仕方について知らせる。聞き手にとって分かりやすい紹介の要素を「題名・作者・設定・物語の組み立て・紹介したい理由・挿絵」とおさえる。物語の組み立ては、「はじめ」「出来事（事件）が起ころ」「出来事（事件）が変化する」「おわり」とし、出来事を視点にしながら分けられることを捉えさせる。

深める段階では、見通す段階で確認している分かりやすい紹介の要素を、中心学習材を使って学習する。中心人物に起こる出来事を学習シートに書き出し、大きな出来事を捉え、物語の「はじめ」「出来事（事件）が起きる」「出来事（事件）が変化する」「おわり」の四つの組み立てにそって場面を分ける。

広める段階では、まず、深める段階までの学習を生かして、自分が紹介するために選んだ本の組み立てを読み取る。次に、グループでの学習を通して、捉えた物語の組み立てが分かりやすい紹介シートになっているかを確認し合う。

【場面の移り変わりと叙述を結び付けて読む。】

○中心人物の変化を場面を比べて読む。

- ・中心人物の会話や行動

見通す段階では、出来事（事件）に視点を置いて分けた四場面の紹介文のモデルを提示する。そのモデルからも分かる中心人物の変化は、会話や行動といった叙述を基にしながら読み取れることを捉えさせる。また、聞き手が分かりやすいように、場面をつなぐ言葉が使われていることにも気付かせる。分かりやすい紹介の要素の「紹介したい理由」は、読み取りを通して感じたことを書くことも捉えさせる。

深める段階では、見通す段階で学習したことを基に、中心学習材を詳しく読み取り、紹介シートにまとめる。

深める段階、まとめる段階では、自分が紹介するために選んだ物語の組み立てから、中心人物の変化を読み取る。中心人物の変化が行動や会話を基に捉えられているか、紹介シートをグループで聞き合い、

確認する。

### イ 言語活動

「紹介したい本を取り上げて説明すること」

様式：「1年生におすすめする、昔話しょうかいシート」本の紹介

字数：400字程度(一場面、100字以内)

要素：題名、作品名、紹介したい理由、①「はじめ」②「出来事(事件)が起きる」③「出来事(事件)が変化する。」④「おわり」の大きな場面に分けたものを短くまとめた文、引用、挿絵

目的：昔話(民話)の面白さを味わい、自分が感じた面白さを伝える。

相手：1年生

見通す段階で、まずいろいろな昔話(民話)を読み聞かせ、お話の面白さを味わわせながら、単元のゴールとなる言語活動を示す。ゴールとなる言語活動に必要な力を身に付けるための学習計画も示し、単元全体の見通しをもたせる。

深める段階、広める段階で、読んだ物語を紹介する際に使用する挿絵の枚数を四枚に限定して取り組ませる。その理由は、紹介に必要不可欠な出来事に着目して挿絵を選択させることで、場面を意識し、物語の組み立てを考えさせるためである。昔話にふれることの多い一年生に昔話の面白さを発表することで、低学年にも分かりやすく伝えようとする意識を高めさせたい。

### ウ 見通す場と振り返りの場

単元を見通す段階で、いろいろな昔話(民話)を読み聞かせ、お話の面白さを味わわせ、物語の世界に誘う。本の挿絵を使った読み聞かせによって、選書の理由を明らかにしながら本の紹介をする、単元のゴールとなる言語活動を示す。また「物語の組み立てから文章を味わい、心に残った本を紹介しよう。」という単元名を示す。児童には、物語の面白さを紹介するにはどのような力が必要なのか(全体の構成を理解すること、場面の移り変わりを叙述と結び付けて読む)を説明する。本単元では中心人物に関わる出来事(事件)を手がかりに四つの場面(①「はじまり」②「出来事(事件)が起きる」③「出来事(事件)が変化する。」④「おわり」)に分け、物語の組み立てを捉える学習をする。

学習の振り返りは、一単位時間の学習課題に対する振り返りと、まとめる段階で行う。一単位時間の振り返りでは学習計画を記載している振り返りシートに学習の成果を記号で記入し、学習課題について振り返る。まとめる段階の振り返りでは、単元全体を通して学習した読みの方法について確認する。

## 3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○紹介したい本について説明するために、 出来事を基にしながら、お話の組み立て を考えながら読むことができる。	・紹介したい本について説明するために、出来事を基にしながら、お話の組み立てを考えて読もうとしている。
読む能力	◎場面の移りかわりに注意しながら、 中心人物の変化について、叙述を結	・自分が選んだ本の面白さを説明するために、場面の移りかわりの印象的など

	<p>びつけて想像して読むことができる。</p> <p>◎お話を紹介するために、いろいろな昔話（民話）を読むことができる。</p>	<p>ころや中心人物の変化を捉えている。</p> <p>&lt;ウ&gt;</p> <p>・自分が紹介したいと思う本について、選んだ理由を明らかにしている。</p> <p>&lt;カ&gt;</p>
言語についての知識・理解・技能	<p>○表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解することができる。</p>	<p>・自分が選んだ本の面白さを表現するために必要な語句を増やしている。</p> <p>&lt;イ・オ&gt;</p>

#### 4 単元の指導計画と評価規準(全8時間)

段階	時	学習活動	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能	補助教材
見通す	1	いろいろな昔話（民話）の読み聞かせを聞くと共に単元名を知り、学習の見通しをもつ。	読み聞かせや単元名からこれからの学習や伝える相手について意識しながら、学習の見通しを捉えている。  (発言)			
	2 2組本時	補助学習材「かさこじぞう」を、出来事に視点を置き、四つに分ける組み立てを理解する。		紹介の要素と紹介文の書き方を学習シートにまとめている。  (シート・発言)		「かさこじぞう」
深める	3	「三年とうげ」を読んで、設定を捉える。難語句、新出漢字を確認する。	お話を紹介するために、進んで物語を読もうとしている。  (発言・観察)	叙述にそって、物語の設定について捉えている。  (シート)	物語を理解するために必要な語句について辞書を利用して調べている。(観察)	

	4 1組本時	「三年とうげ」を中心人物に関わる出来事に着目して場面分けし、物語の組み立てを確認する。		叙述を基に中心人物を変化させた出来事から場面分けをし、物語の組み立てを理解している (シート・発言)		
	5	物語の組み立てから「三年とうげ」の面白いところを読み取り、物語の紹介シートを書き、挿絵を選ぶ。		前時に確認した物語の組み立てから、お話の面白さを紹介する紹介シートを書いている。 (シート)	本の面白さを伝えるためにふさわしい語句を選び、紹介シートを書いている。 (シート)	
広める	6	1年生に紹介するために選んだ物語を場面分けし、組み立てを捉える。	1年生にお話を紹介するために、進んで紹介シートを書こうとしている。 (観察)	出来事に着目した四つの場面分けから物語の組み立てを理解している。 (シート)		自分で選んだ本
	7	捉えた場面構成をもとに、紹介したい理由と各場面をまとめた紹介シートの作成や紹介する挿絵を選択する。		物語の組み立てから、お話の面白さを紹介する紹介シートを書いている。 (シート)	本の面白さを伝えるためにふさわしい語句を選び、紹介シートを書いている。 (シート)	

まとめ	8	学習して分かったことや物語を読んだ感想をまとめ、単元全体を振り返る。		学習を振り返り、出来事に着目した場面分けから、物語の全体構成を捉えたことや、中心人物の変化やお話の面白さを捉えたことを確かめている。 (シート・発言)		
-----	---	------------------------------------	--	--	--	--

3年2組本時

## 5 本時の指導(2/8)

### (1) 本時の目標

聞き手に分かりやすい物語の紹介をするために必要な要素と、紹介文の書き方を理解することができる。

### (2) 本時の評価の観点と評価規準

評価規準 観点	A十分満足できる	Bおおむね満足できる	C努力を要する児童への手立て
読む能力	Bに加えて出来事を視点にした場面分けなど、これまでの言語活動との違いについて気づき、まとめている。 例) まとめ ・今まで物語を3つに分けていましたが、出来事で4つに分けることができるということを初めて知りました。	学習のまとめで、紹介の要素と紹介文の書き方を学習シートにまとめている。 例)紹介すること ・題名、作者、さし絵 ・設定(時、場、登場人物) ・あらすじ(「はじめ」「出来事が起こる」「出来事が変化する」「おわり」) ・紹介したいわけ 紹介文の書き方 ・文末を丁寧を書く。 ・文と文をつなぐ言葉を書く。	板書をもとに振り返らせながら学習シートに書きこませる。

(3) 展開

段階	学習活動 ○発問・期待する児童の反応	教師の支援 学習内容 ◎評価 ・留意事項
見通す 3分	<p>1 単元のねらいを確認するとともに、前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。 紹介文の書き方を考えよう。</p> <p>3 課題に対する視点を確認する。 ・聞く人が分かりやすいこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識を高め、単元全体で果たす本時の役割を確認する。</li> <li>・本時の学習で分かったことが、深める段階、広める段階の読みの視点につながっていくことを押さえる。</li> <li>・本時は「聞く人に分かりやすいか」ということに気をつけながら学習していくことを示す。</li> </ul>
深める	<p>4 課題に対する自分の考えを持つ。 (1) 何を紹介するかについて考える</p> <p>○みなさんが、1年生にこの本を紹介するとしたらこの本の何について紹介しますか？ ・題名 ・作者 ・挿絵 ・設定（時、場、登場人物） ・あらすじ ・紹介したい理由</p> <p>○それでは、紹介します。聞き手にとって分かりやすい紹介になっているか、という点に注意しながら聞きましょう。</p> <p>○今の紹介は、分かりやすかったですか。 ・題名などは分かったが、あらすじがよく分らなかった。 ・中の部分分からない。 ・どんな出来事があったか分からない。</p> <p>○物語は、「出来事が起こる」「出来事が変化する」「出来事が解決する」というように進んでいきます。出来事が起こる前に「お話の紹介」が書かれています。このように、物語がどのような場面からできているか、ということを「物語の組み立て」と言います。この単元では、あらすじを紹介する時、出来事に視点を当てお話を四つの場面に分けて紹介します。</p> <p>○「かさこじぞう」のあらすじを確認しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えるきっかけとなるように、前時の読み聞かせでもこの要素で紹介しておく。</li> <li>・「かさこじぞう」の絵本にカバーをかけて児童に提示し、興味を持たせるようにする。</li> <li>・紹介したい理由、題名、作者の順で紹介し、あらすじ（設定も含む）は挿絵を見せながら、はじめと終わりの部分だけの紹介とする。</li> </ul> <p><b>物語を出来事に視点をおき四つに分ける組み立てを理解すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の組み立てを「はじめ（紹介）」「出来事が起きる」「出来事が変化する」「おわり（出来事が解決する）」という四つに捉える学習は初めてなので丁寧に説明する。</li> <li>・物語の組み立ては、他にもあることを補足する。</li> <li>・「かさこじぞう」は音読練習の題材として前もって読ませておく。</li> <li>・教師が提示した5枚の出来事カードを話の順に並べ替え、あらすじを全体で確認す</li> </ul>

<p>35分</p> <p>まとめる</p> <p>7分</p>	<p>○物語の組み立てに合わせて三つの出来事を選びましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「出来事が起こる」は、②の「じいさまは、かさを売りに・・・」</li> <li>・「出来事が変化する」は、③の「じいさまは、雪をかぶった・・・」</li> <li>・「おわり（出来事が解決する）」は、⑤の「地蔵さまが、もちや・・・」</li> </ul> <p>(2) 紹介文の書き方について考える。</p> <p>○比較して違いを見つけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ある年の大みそか」「村のはずれの野っ原で」「すると、真夜中ごろ」などが使われています。</li> <li>・文末が丁寧になっています。</li> </ul> <p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○聞き手に分かりやすい紹介にするためには、何を紹介するのか、紹介文はどのように書くとよいか学習シートにまとめましょう。</p> <p>6 学習について振り返る。</p> <p>○今日の学習を振り返って、学習計画表にしるしを書きましょう。</p> <p>7 次時の予告</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5枚の出来事カードを組み立てが書かれた学習シート上で操作しながら物語の組み立てに合わせて出来事を選ぶ活動に取り組みさせていく。</li> <li>・③の代わりに④「じいさまは、餅つきのまねをして・・・」を入れた場合を考えさせ、出来事は中心人物を変えたり変えるきっかけとなったりしたものを選ばなければ、話の筋や面白さが伝わらないことを理解させる。</li> <li>・板書を見ながらまとめられるように紹介の要素を確認してから、次の学習に移る。</li> <li>・教師が紹介のモデル文を提示し、場面の出来事をまとめた文と比較し、モデル文は本文中にある言葉を使って文と文をつないでいること、文末が丁寧になっていることに気付かせる。</li> <li>・時や場が変わると出来事が起きたり変化したりすることが多いことを補足する。</li> <li>・板書をもとに学習シートに書かせる。</li> <li>・学習シートの「まとめ」には、本時の学習で初めて分かったことや今までの学習との違いを書くように助言する。</li> </ul> <p>◎聞き手に分かりやすい紹介をするために、何を、どのように紹介すればよいか分かったか。(シート、発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題に沿って振り返りを書かせる。</li> </ul>
----------------------------------	--	--

(4) 板書計画

おわり	出来事が変化する	出来事が起こる	はじめ	
<p>出来事がどのよう に解決したか</p>	<p>事が動いていく 新しい登場人物</p>	<p>登場人物が、こま る、など</p>	<p>時、場、登場人物な どの紹介</p>	<p><b>あらすじ</b>      <b>設定(時・場・登場人物)</b></p> <p>むかしむかし、あるところに じさまとばあさまがおりました。 たいそうびんぼうで、その日その日をや つとくらししておりました。</p> <p>ある年の大みそか。じいさまは、町にか さを売りに行きましたが売れなかったの で、帰ることにしました。</p> <p>村のはずれの野っ原でじいさまは、雪を かぶった地ぞうさまに、売りもののかさ と自分の手ぬぐいをかぶせてあげました。</p> <p>すると、真夜中…。お地ぞうさまがもち やみそ、にんじん、ごんぼ、だいこんの かます、おかざりのまつなどをとどけてくれまし た。じいさまとばあさまは、よい正月をむかえる ことができました。</p>

物語の組み立てから文章を味わい、心に残ったお話を紹介しよう。  
⑦(しょうかいすることと、しょうかい文の書き方を考えよう。)

してん 聞く人が分かりやすい

**何を**

**題名** かさこじぞう      **紹介したいわけ**

**作者** まつたにみよこ

**さし絵**

- ・読むと心があたたかくなるから
- ・よい行いをするとういことがあ  
るということを教えてくれる話

**文と文をつなげる言葉を使う**      **文末をていねいに書く。**

3年1組本時

5 本時の指導(4/8)

(1)本時の目標

中心人物を変化させる出来事に着目し、物語の組み立てを理解することができる。

(2)本時の評価の観点と評価規準

	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手立て
読む能力	<p>Bに加えて、捉えた物語の組み立てを場面の移り変わりがより分かりやすいように工夫してまとめている。</p> <p>例)「①三年とうげには『三年とうげで転んだならば、長生きしたくも生きられぬ。』という言い伝えがあった。②ある秋のこと、足を急がせていたおじいさんは、そのとうげで石につまずいて転び、とうとう病気になった。③しかし、そんなある日のこと、水車屋のトルトリから病気を治す方法を聞いた</p>	<p>叙述を基に中心人物を変化させた出来事から場面分けをし、物語の組み立てを捉えている。</p> <p>例)「①三年とうげには『三年とうげで転んだならば、長生きしたくも生きられぬ。』という言い伝えがあった。②おじいさんは三年とうげで石につまずいて転び、とうとう病気になった。③水車屋のトルトリから病気を治す方法を聞いたおじいさんは、トルトリの考えに納得した。④とうげに行き、わざと</p>	<p>前時まで学習している物語の組み立てを振り返らせながら、中心人物の変化に着目させ、場面の移りかわりを捉えさせる。</p>

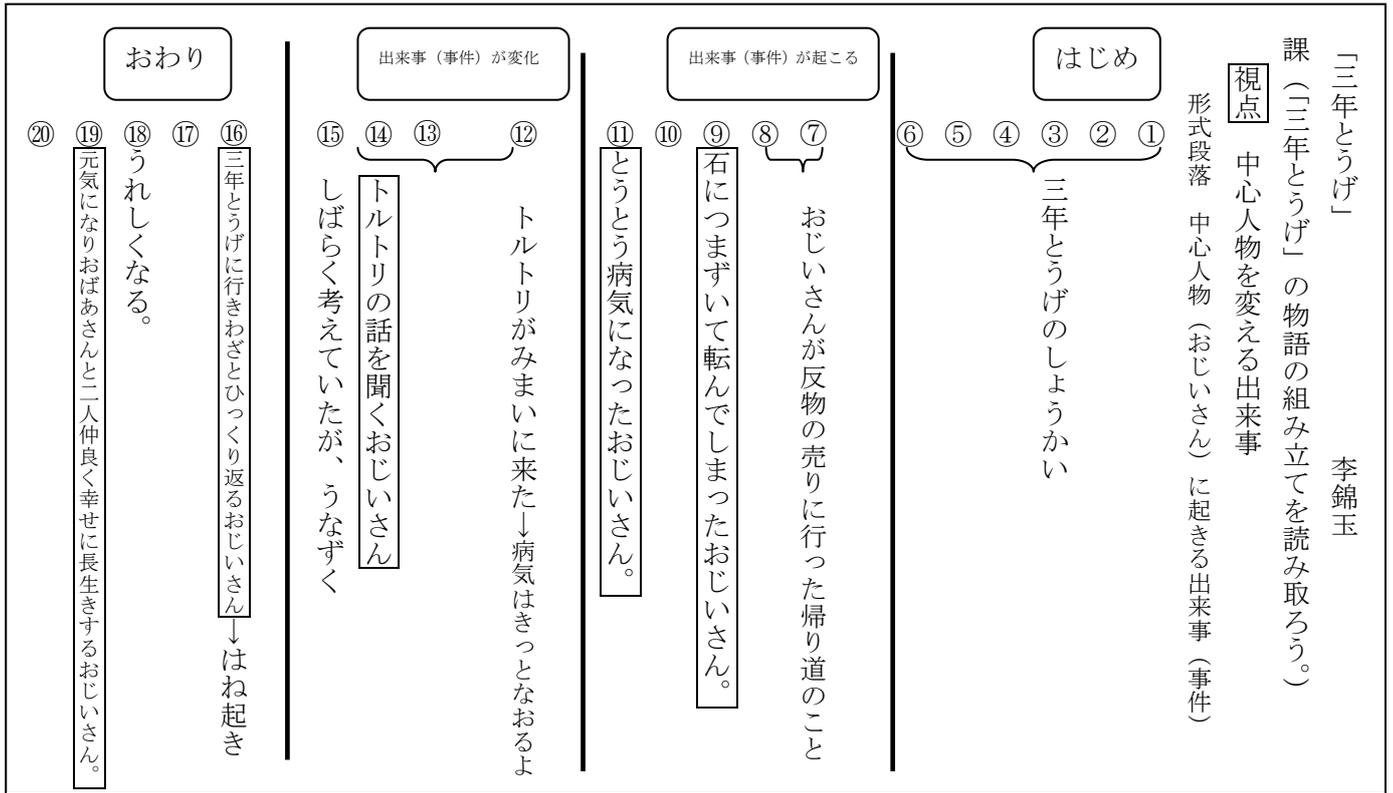
	おじいさんは、トルトリの考えに納得した。④それから、そのとうげでわざとひっくり返り、おじいさんはすっかり元気になり、おばあさんといっしょに仲良く幸せに長生きした。	ひっくり返り、おじいさんはすっかり元気になり、おばあさんといっしょに仲良く幸せに長生きした。	
--	---	--	--

(3)展開

段階	学習活動 ○発問・期待する児童の反応	教師の支援 学習内容 ◎評価 ・留意事項
見通す 5分	<p>1 単元のねらいを確認すると共に前時までの学習を想起し、本時の学習内容を知る。 ○紹介カードに必要な要素について学習しました。今日はその要素の一つである物語の組み立てが「三年とうげ」ではどうなっているのかを読んでいきましょう。</p> <p>2 学習課題を確認する。 「三年とうげ」の物語の組み立てを読み取ろう</p> <p>3 課題に対する視点を確認する。 ・中心人物（おじいさん）に起きる出来事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールとなる言語活動への相手意識や目的意識をもたせるために、紹介カードに必要な要素が何であったかを確認する。</li> <li>・本時の課題に対する視点を明確にするために、前時までに学習している四場面の組み立てがどうだったかを確認する。</li> </ul>
深める 20分	<p>4 課題に対する自分の考えをもつ。 (1)中心人物に起きる出来事について叙述を基に捉える。 ○物語の中で、中心人物（おじいさん）にどんな出来事が起きているか見つけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三年とうげで石につまずいて、転んでしまった。</li> <li>・ご飯も食べずにふとんにもぐりこみ、とうとう病気になった。</li> <li>・病気がどんどん重くなった。</li> <li>・トルトリの話を聞いた。</li> <li>・ふとんからはね起き三年とうげに行き、わざと転んだ。</li> <li>・うれしくなった。</li> <li>・元気になり、おばあさんと仲良く幸せに、長生きした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心人物に起きる出来事のうち、中心人物の変化に関わる出来事に着目させて、出来事を見つけさせる。</li> <li>・自分が見つけた中心人物に起こる出来事を発表し合い、見つけ出した出来事が中心人物の変化に関わる出来事なのかを確認させる。</li> </ul>

	<p>(2)中心人物を変えた出来事から場面を分ける。 ○物語の組み立てに気をつけながら場面を分けてみましょう。</p>	<p>・前時までの学習を基に「はじめ(紹介)」「出来事が起きる」「出来事に変化する」「おわり(出来事が解決する)」という四つに分ける。また、前時までに学習している、時や場が変わると出来事が起きたり変化したりすることが多いことも場面分けの手がかりにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">       場面の移りかわりに注意し、中心人物の変化を読み取ること     </div>
ま と め る  2 0 分	<p>5 捉えた物語の組み立てから、場面の内容をまとめる。 ○捉えられた物語の組み立てから、場面の内容を短くまとめましょう。</p>	<p>・前時までに学習した物語の組み立てに「三年とうげ」もなっていることを確認し、各場面の様子を第2時に提示したモデルを参考にしながら短くまとめる。 ・短くまとめた文をとなりどうしで発表し合う。 ◎中心人物を変化させる出来事に着目した四つの場面分けから、物語の組み立てを理解することができたか。(シート・発言)</p>
	<p>7 学習について振り返る。 ○今日の学習を振り返って分かったことや、自分が良くできたことを書きましょう。</p> <p>8 次時の予告</p>	<p>・学習課題に対する振り返りをし、本時の学習と単元のめあてのつながりを確認する。 ・紹介シートに必要な要素「紹介したい理由」「挿絵」について次時に学習、紹介シートにまとめることを確認する</p>

(4)板書計画



5 本時の指導(2/8)

(1) 本時の目標

聞き手に分かりやすい物語の紹介をするために必要な要素と、紹介文の書き方を理解することができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

観点	評価規準	A十分満足できる	Bおおむね満足できる	C努力を要する児童への手立て
読む能力		Bに加えて 出来事を視点にした場面分けなど、これまでの言語活動との違いについて気づき、まとめている。  例) まとめ ・今まで物語を3つに分けていましたが、出来事で4つに分けることができるということを初めて知りました。	学習のまとめで、紹介の要素と紹介文の書き方を学習シートにまとめている。  例)紹介すること ・題名、作者、さし絵 ・設定(時、場、登場人物) ・あらすじ(「はじめ」「出来事が起こる」「出来事が変化する」「おわり」) ・紹介したいわけ 紹介文の書き方 ・文末を丁寧を書く。 ・文と文をつなぐ言葉を書く。	板書をもとに振り返らせながら学習シートに書きこませる。

(3) 展開

段階	学習活動 ○発問・期待する児童の反応	教師の支援 □学習内容 ◎評価 ・留意事項
見通す  3分	1 単元のねらいを確認するとともに、前時の学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 □紹介文の書き方を考えよう。 3 課題に対する視点を確認する。 ・聞く人が分かりやすいこと	・相手意識を高め、単元全体で果たす本時の役割を確認する。 ・本時の学習で分かったことが、深める段階、広める段階の読みの視点につながっていくことを押さえる。 ・本時は「聞く人に分かりやすいか」ということに気をつけながら学習していくことを示す。

<p>深める</p>	<p>4 課題に対する自分の考えを持つ。</p> <p>(1) 何を紹介するかについて考える</p> <p>○みなさんが、1年生にこの本を紹介するとしたらこの本の何について紹介しますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名</li> <li>・作者</li> <li>・挿絵</li> <li>・設定（時、場、登場人物）</li> <li>・あらすじ</li> <li>・紹介したい理由</li> </ul> <p>○それでは、紹介します。聞き手にとって分かりやすい紹介になっているか、という点に注意しながら聞きましょう。</p> <p>○今の紹介は、分かりやすかったですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名などは分かったが、あらすじがよく分からなかった。</li> <li>・中の部分が分からない。</li> <li>・どんな出来事があったか分からない。</li> </ul> <p>○物語は、「出来事が起こる」「出来事が変化する」「出来事が解決する」というように進んでいきます。出来事が起こる前に「お話の紹介」が書かれています。このように、物語がどのような場面からできているか、ということ「物語の組み立て」と言います。この単元では、あらすじを紹介する時、出来事に視点を当てお話を四つの場面に分けて紹介します。</p> <p>○「かさこじぞう」のあらすじを確認しましょう。</p> <p>○物語の組み立てに合わせて三つの出来事を選びましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「出来事が起こる」は、②の「じいさまは、かさを売りに・・・」</li> <li>・「出来事が変化する」は、③の「じいさまは、雪をかぶった・・・」</li> <li>・「おわり（出来事が解決する）」は、⑤の「地蔵さまが、もちや・・・」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えるきっかけとなるように、前時の読み聞かせでもこの要素で紹介しておく。</li> <li>・「かさこじぞう」の絵本にカバーをかけて児童に提示し、興味を持たせるようにする。</li> <li>・紹介したい理由、題名、作者の順で紹介し、あらすじ（設定も含む）は挿絵を見せながら、はじめと終わりの部分だけの紹介とする。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">物語を出来事に視点を置き四つに分ける組み立てを理解すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の組み立てを「はじめ（紹介）」「出来事が起きる」「出来事が変化する」「おわり（出来事が解決する）」という四つに捉える学習は初めてなので丁寧に説明する。</li> <li>・物語の組み立ては、他にもあることを補足する。</li> <li>・「かさこじぞう」は音読練習の題材として前もって読ませておく。</li> <li>・教師が提示した5枚の出来事カードを話の順に並べ替え、あらすじを全体で確認する。</li> <li>・5枚の出来事カードを組み立てが書かれた学習シート上で操作しながら物語の組み立てに合わせて出来事を選ぶ活動に取り組みさせていく。</li> <li>・③の代わりに④「じいさまは、餅つきのみねをして・・・」を入れた場合を考えさせ、出来事は中心人物を変えたり変えるきっかけとなったりしたものを選ばなければ、話の筋や面白さが伝わらないことを理解</li> </ul>
------------	--	--

<p>35分</p> <p>まとめ</p> <p>7分</p>	<p>(2) 紹介文の書き方について考える。</p> <p>○比較して違いを見つけましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ある年の大みそか」「村のはずれの野っ原で」「すると、真夜中ごろ」などが使われています。</li> <li>・文末が丁寧になっています。</li> </ul> <p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○聞き手に分かりやすい紹介にするためには、何を紹介するのか、紹介文はどのように書くとよいか学習シートにまとめましょう。</p> <p>6 学習について振り返る。</p> <p>○今日の学習を振り返って、学習計画表にしるしを書きましょう。</p> <p>7 次時の予告</p>	<p>させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書を見ながらまとめられるように紹介の要素を確認してから、次の学習に移る。</li> <li>・教師が紹介のモデル文を提示し、場面の出来事をまとめた文と比較し、モデル文は本文中にある言葉を使って文と文をつないでいること、文末が丁寧になっていることに気付かせる。</li> <li>・時や場が変わると出来事が起きたり変化したりすることが多いことを補足する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書をもとに学習シートに書かせる。</li> <li>・学習シートの「まとめ」には、本時の学習で初めて分かったことや今までの学習との違いを書くように助言する。</li> </ul> <p>◎聞き手に分かりやすい紹介をするために、何を、どのように紹介すればよいか分かったか。(シート、発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題に沿って振り返りを書かせる。</li> </ul>
---------------------------------	---	--

(4) 板書計画

④ (しょうかい文の書き方を考えよう)  
しょうかいすること

--	--	--	--

しょうかい文の書き方

○	○
---	---

感想【今日の学習で、分かったことや思ったこと】

--	--	--

① むかしむかし、あるところに  
じいさまとばあさまがいた。  
たいそうびんぼうで、その日その日を  
やっとくらししていた。

② じいさまは、町にかさを売りに行った。  
でも、売れなかったので帰ることにした。

③ じいさまは、雪をかぶった地ぞう様に  
売り物のかさと自分のてぬぐいをかぶせた。

④ じいさまは、もちつきのまねをして  
つけなかみかみ やすんだ。

⑤ 地ぞう様が、もちやみそ、にんじんごんぼ、  
だいこんのかます おかざりのまつなどを  
とどけてくれた。  
じいさまとばあさまは、よいお正月を  
むかえることができた。

むかしむかし、あるところに  
じいさまとばあさまがおりましたと。  
たいそうびんぼうで、その日その日を  
やとくらしておりましたと。

ある年の大みそか

じいさまは、町にかさを売りに行きました。  
でも、売れなかったので帰ることにしました。

村のはずれの野っ原で

じいさまは、雪をかぶった地ぞう様に  
売り物のかさと自分のてぬぐいを  
かぶせてあげました。

じいさまは、もちつきのまねをして  
つけなかみかみ やすみました。

すると、真夜中

地ぞう様が、もちやみそ、にんじんごんぼ、  
だいこんのかます おかざりのまつなどを  
とどけてくれました。

じいさまとばあさまは、よいお正月を  
むかえることができましたと。

# 昔話しようかいシート

三年 組名前

時 場 登場人物			設定			しょうかい 紹介したいわけ	題名				
			あらすじ (物語の組み立て)				作者				
おわり			出来事の変化			出来事が起き			はじめ		

むかしむかし、あるところに  
じいさまとばあさまがおりましたと。  
たいそうぶんぼうで、その日その日を  
やっつくらしておりましたと。

ある年の大みそか

じいさまは、町にかさを売りに行きました。  
でも、売れなかつたので帰ることにしました。

村のはずれの野っ原で

じいさまは、雪をかぶった地ぞう様に  
売り物のかさと自分のてぬぐいを  
かぶせてあげました。

じいさまは、もちつきのまねをして  
つけなかみかみ やすみました。

すると、真夜中

地ぞう様が、もちやみそ、にんじんごんぼ、  
だいこんのかます おかざりのまつなどを  
とどけてくれました。

じいさまとばあさまは、よいお正月を  
むかえることができましたと。

おわり	出来事が変化する	出来事が起る	はじめ	あらすじ（物語の組み立て）  名前（  ）
<p>出来事が どのように 解決したか</p>	<p>解決<sup>かいけつ</sup>に向けて出来 事が動いていく 新しい登場人物</p>	<p>登場人物が困<sup>こま</sup> る など</p>	<p>時・場・登場人物 などのしよつかい</p>	

物語の組み立てから文章を味わい、心に残ったお話を紹介しよう。

⑥ (しょうかいすることと、しょうかい文の書き方を考えよう。)

してん

聞く人が分かりやすい

何を

題名 かきこじぞう

紹介したいわけ

作者 まつたにみよこ

・読むと心が暖かくなるから

さし絵

・よい行いをするとういことがあるということ

教えてくれる話

あらすじ

設定(時・場・登場人物)

おわり	出来事が変化する	出来事が起きる	はじめ
てか 解決し ようの がどの 出来事	物 登場人 新しい ていく が動い	ど まる、な 物がこ 登場人	の紹介 登場人 物など 時・場・
むか いさ たい やっ	かぶ じい まつ じい むか	ある じい したが しま	むか じい たい やっ

文と文をつなげる言葉を使う。  
文末をていねいに書く。

すると、真夜中  
お地ぞう様もちやみそ、にんじん  
ごんぼ、だいこんのかます、おかざりの  
まつなどをとどけてくれました。  
じいさまとばあさまは、よいお正月を  
むかえることができましたと。

# 本単元の学習指導一覧表

## 単元名

物語の組み立てから文章を味わい、心に残ったお話をしようかいしょう。

## 中心学習材

三年とうげ

目標：場面の移りかわりに注意しながら、中心人物の変化について、叙述を結びつけて想像して読むことができる。〈読むこと ウ〉  
お話を紹介するために、いろいろな昔話(民話)を読むことができる。〈読むこと カ〉

段階	主な学習活動	主な評価	○読みの方法 ・補助学習材
<b>見通す</b> 単元全体のめあてをつかみ、学習計画を知る。	①いろいろな昔話(民話)の読み聞かせを聞くと共に単元名を知り、学習の見通しをもつ。 ②(2組本時)物語の紹介に必要な要素を確認し、補助教材「かさこじぞう」の中心人物が場面の移り変わりによってどのように変化するかを読み、物語の組み立てを捉える。	①読み聞かせや単元名からこれからの学習や伝える相手について意識しながら学習の見通しを捉えている。(関：発言) ②学習のまとめで紹介の要素と紹介文の書き方をまとめている。(読：シート・発言)	○出来事に沿って場面を分ける。 ・「かさこじぞう」 ・昔話(民話) 並行読書
<b>深める</b> 目的に沿って中心学習材を読み取る。	③「三年とうげ」を読んで、設定を捉える。難語句、新出漢字を確認する。 ④(1組本時)「三年とうげ」を中心人物に関わる出来事に着目して場面分けし、物語の組み立てを確認する。 ⑤物語の組み立てから「三年とうげ」の面白いところを読み取り、物語の紹介シートを書き、挿絵を選ぶ。	③叙述にそって、物語の設定について捉えている。(読：シート) 物語を理解するために必要な語句について辞書を利用して調べている。(知：観察) ④第2時の学習を基に、出来事に着目した四つの場面分けから、物語の組み立てを理解している(読：シート・発言) ⑤前時に確認した物語の組み立てから、お話の面白さを紹介する紹介シートを書いている。(読：シート) 本の面白さを伝えるためにふさわしい語句を選び紹介シートを書いている。(言：シート) ③④⑤お話を紹介するために、進んで物語を読もうとしている。(関：発言・観察)	○設定 ○登場人物の行動 ○会話文 ○出来事に沿って場面を分ける。 ○中心人物の変化を場面で比べて読む
<b>広める</b> 学んだことを生かし、物語を読み取り、紹介文を書く。	⑥下級生に紹介するために選んだ物語を場面分けし、組み立てをとらえる。 ⑦捉えた場面構成をもとに、紹介したい理由と各場面をまとめた紹介シートの作成や紹介する挿絵を選択する。	⑥下級生にお話を紹介するために、進んで紹介シートを書こうとしている。(関：観察) 出来事に着目した四つの場面分けから物語の組み立てを理解している。(読：シート) ⑦物語の組み立てから、お話の面白さを紹介する紹介シートを書いている。(読：シート) 本の面白さを伝えるためにふさわしい語句を選び紹介シートを書いている。(言：シート)	○設定 ○登場人物の行動 ○会話文 ○出来事に沿って場面を分ける。 ○中心人物の変化を場面で比べて読む ・自分が紹介したい昔話(民話)
<b>まとめる</b> 学習の振り返りをする。	⑧学習して分かったことや物語を読んだ感想をまとめ、単元全体を振り返る。	⑧学習を振り返り、出来事に着目した場面分けから、物語の全体構成を捉えたことや、中心人物の変化やお話の面白さを捉えたことを確かめている。(読：シート・発言)	

### ゴールに据える言語活動

【言語活動】紹介したい本を取り上げて説明すること【様式】1年生におすすめする、昔話しようかいシート  
 【言語能力】物語の組み立てから昔話(民話)の面白さを味わい、自分が感じた面白さを伝える。  
 【要素】題名、作品名、紹介したい理由、①「はじめ」②「出来事(事件)が起きる」③「出来事(事件)が変化する。」④「おわり」の大きな場面に分けたものを短くまとめた文、引用、挿絵